

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	観光史跡整備事業							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	産業振興課	係	商工振興係	評価票作成者	観光・消費生活担当係長 神谷明裕
1-3 総合計画における施策の体系	①節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			③基本施策	観光	コード	3-3-4
	②項	産業振興			④単位施策(中)	観光施設の整備	コード	3-3-4-3
					⑤単位施策(小)	観光史跡の整備	コード	3-3-4-3-1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	観光史跡等8箇所		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	桶狭間古戦場伝説地、阿野一里塚、名勝地二村山等の観光案内看板・駐車場・トイレ等の整備を計画し、順次整備する。			
1-5 事務事業の内容	観光史跡の設備等の整備を行う。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	観光史跡の現状を見ながら整備が必要な箇所の状況を把握する。	観光案内看板、駐車場等の整備するための予算確保が難しい。		分かりやすい観光案内看板、トイレ等の整備等は、要望が高いと思われるので、順次取り組んでいく必要がある。	
	平成19年度	二村山展望台眺望案内板を設置した。	"		"	
	平成20年度	桶狭間古戦場伝説地の案内看板の取替えを生涯学習課と検討した。	"		"	
	平成21年度	市内に点在する歌碑案内板の状況を把握して取り替えの有無等を調査した	"		"	
	平成22年度	二村山展望台の排水設備の改修を行った。その他にもトイレ・駐車場等の整備は要望が高いと思われるが、予算確保が難しい。				
	平成23年度	二村山展望台の屋上のシートを張替え、及び照明灯を更新し、整備に努めた。また、観光史跡等の道路案内板の調査を実施したが、道路案内板も含め他の施設も設置して年数が経過しているため状況を見守っていく必要がある。				
	平成24年度					
	平成25年度					
平成26年度						
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明				
	観光史跡等の整備箇所数(箇所)			2(箇所)	3(箇所)	観光案内板、駐車場、トイレの設置整備				

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(単位)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	0	934	0	0	788	1,365	24			
	人件費 c(千円)	256	256	128	128	124	120	120			
	合計コスト d(b+c)(千円)	256	1,190	128	128	912	1,485	144			
	単位コスト d/a(千円)	1箇所当たり-	1箇所当たり 1,190	1箇所当たり-	1箇所当たり-	1箇所当たり912	1箇所当たり743	1箇所当たり144	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 活動実績 : 桶狭間古戦場の戦いの案内板設置検討及び観光ルート案内板設置検討
 直接事業費 : 工事費 二村山側溝修繕工事
 人件費 : 2名×2日×4h×3,000円=48,000円 2名×3日×4h×3,000円=72,000円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(箇所)	0	1	1	1	1	2	1			
	後期目標値に対する達成度(%)	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3			

3 ■ 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度担当課評価	A	A	B	B	B	A	B			

- 4段階評価結果
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 D : 事務事業の廃止が相当

- 判断の基準
 ①必要性(必要な事務事業であるか)
 ②公共性(公が実施する意味があるか)
 ③妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 ④効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 ⑤有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 ⑥市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識			次年度に向けて改善する取組み			事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価		
	平成18年度	観光案内看板等の整備の優先順位を検討していくこと。			二村山展望台周辺の整備を進める。			県観光施設費等補助金制度等を活用して必要な整備を順次取り組んだ。	
平成19年度	"			桶狭間古戦場伝説地内観光案内板整備の検討を進める。			県補助金を活用して二村山展望台眺望案内板の整備に取り組んだ。		
平成20年度	"			桶狭間古戦場伝説地の案内板設置を県補助事業として生涯学習課から申請する。(21年度事業)			近隣市町古戦場周辺の観光ルート案内表示板の設置状況を研究参考に検討		
平成21年度	"			散策ルート途中に案内板を設置できないか検討を進める。			"		
平成22年度	既存の施設の改修は、必要な措置を取ることができたが(二村山展望台の排水関係の改修)、散策ルート等の検討の中で案内看板の設置ができないか。また、その費用に対して、県の観光施設等補助金が活用できないか検討していく。								
平成23年度	観光史跡等の道路案内板については、現状のものをそのまま更新していくとかなりの費用が必要なので安価な方法でできないか検討していく。またこれらに他の観光史跡も含め、県の補助金が活用できないかあわせて検討していく。								
平成24年度	観光史跡等の道路案内板については、現状のものをそのまま更新していくとかなりの費用が必要なので安価な方法でできないか検討していく。またこれらに他の観光史跡も含め、県の補助金が活用できないかあわせて検討していく。								
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									

4 ■ 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	継続して事業を進めること。
	平成20年度	A	継続して事業を進めること。
	平成21年度	A	継続して事業を進めること。
	平成22年度	A	継続して事業を進めること。
	平成23年度	A	歴史的イメージの定着を意識しながら、継続して事業を進めること。
	平成24年度	A	歴史的イメージの定着を意識しながら、継続して事業を進めること。
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		